※令和４年度以降入学生用

学校番号	３０１４

令和８年度　国語科

教科	国語	科目	言語文化	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	「新編 言語文化」（数研出版）						
副教材等	「ことばを広げる 新漢字ノート」（浜島書店）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・国語で適切に表現する能力や文章を的確に理解する能力を習得し、伝え合う力を高めること。
・さまざまな文章を読んで、思考力を伸ばし心情を豊かにし、言語感覚を磨くこと。
・文学作品に対する関心を深め、言語活動を積極的に行い、文化に親しむ態度をもつこと。
・プリント等の学習課題に関しては真面目に取り組み、提出期限を必ず守ること。
・話し合いや意見の発表に対して積極的に取り組むこと

2　学習の到達目標

国語を適切に表現し的確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を伸ばし、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図る態度を育む。また、生涯にわたる社会生活に必要な知識や技能を身につけるとともに、論理的に考える力や他者と関わり合う力を高める
それにより言葉が持つ価値への認識を深め、言葉を通して社会へかかわろうとする態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	生涯にわたる社会生活に必要な知識や技能を身につけているとともに、言語文化に対する理解を深めている。	「書くこと」の領域において、目的や、場に応じて効果的に話し、的確に聞き取ったり話し合ったりできる。 また、「書くこと」、「読むこと」の領域において、相手や目的、意図に応じた適切な文章を読み取り、自分の考えをまとめ、深めている。	言葉を通して積極的に他者や社会に関わり、ものの見方、感じ方、考え方を深めている。また、言葉が持つ価値への認識を深めようとしているとともに、文学作品に親しむことで自己の感性を向上させ、言語文化の担い手として自覚をもとうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
一学期	古文入門 ［教材］ 『児のそら寝』(宇治拾遺物語)	a：歴史的仮名遣いや古文の言葉の決まりについて理解している。 b[　読　]：古典の文章に親しむとともに、現代に通じる話のおもしろさや人間描写の巧みさを捉え、内容を解釈している。 c：積極的に説話を読み、作品の内容を味わい話のおもしろさを互いに伝え合おうとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 授業態度 指名音読課題の提出	授業態度 話し合い課題の提出
	古文入門 ［教材］ 『ある人、弓射ることを習ふに』（徒然草）	a：語句の量を増やし語彙力を高め、文語の決まりについて理解している。 b[　書　]：説話から作者が主張しようとしていることを読み取り、自らの意見や考えを論述している。 c：自ら進んで作中の人物像を捉え、味わおうとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 授業態度 指名音読課題の提出	授業態度 発表 課題の提出
	歌物語 ［教材］ 『芥川』(伊勢物語)	a：語句の量を増やし語彙力を高め、用言の活用について理解している。 b[　読　]：話の中で和歌が果たしている役割を捉え、歌物語の特徴と読み解き方を理解している。 c：歌物語に積極的に親しみ、和歌の果たす意味を捉えようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 授業態度 指名音読課題の提出	授業態度課題の提出
	歌物語 ［教材］ 『筒井筒』(伊勢物語)	a：語句の量を増やし語彙力を高め、作品の歴史的または文化的な背景を理解している。 b[　話/聞　]：作中の和歌の内容を理解し、自らの意見や考えをまとめ、互いに話し合っている。 c：歌物語についてわかったことや感じたことを積極的に伝え合おうとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 授業態度 指名音読話し合い 発表 課題の提出	授業態度 話し合い課題の提出

※令和４年度以降入学生用

二学期	漢文入門 ［教材］ 訓読のきまり	a：漢文を訓読するための基礎知識として、返り点・助字・再読文字のはたらきと意味について習得している。 c：これからの学習に見通しをもち、漢文訓読の基礎知識を積極的に身につけようとしている。	定期考査 小テスト		授業態度課題の提出
	和歌 ［教材］ 『万葉集』 『古今和歌集』 『新古今和歌集』	a：語句の量を増やし語彙力を高め、修辞技法について理解している。 b［　書　］：自由に記述された和歌を読み、当時の人々の生活を知り、自らの考えを論述している。 c：作品に表れた考え方や美意識を積極的に理解し、自分の考えを互いに伝え合おうとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 授業態度 指名音読 課題の提出	授業態度 発表 話し合い課題の提出
二学期	和歌 ［教材］ 『和歌を訳す』	a：語句の量を増やし語彙力を高め、助詞について理解している。 b［　読　］：古語の意味や、修辞技法をおさえ、内容や展開を的確に捉え読み解いている。 c：筆者の執筆の意図や日記の内容についてわかったこと感じたことを積極的に伝え合おうとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 授業態度 指名音読 課題の提出	授業態度 発表 話し合い課題の提出
三学期	受け継がれる古典 ［教材］ 『羅生門』(芥川龍之介)	a：常用漢字を文章の中で活用している。比喩などの修辞や主張と論拠の関係について理解している。 b［　読　］：下人の行動や心理をもとに場面の展開を捉え、老婆の言動による下人の心情の変化を読み取れている。 c：　自分の意見や考えを論述するために、下人の行為を捉え、文章の内容や論理の展開について積極的に捉えようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 授業態度 指名音読 課題の提出	授業態度 指名音読課題の提出
	故事成語	a：漢文の訓読の決まりを理解し、古典の言	定期考査 小テスト	定期考査	授業態度課題の提出

※令和４年度以降入学生用

	［教材］ 『狐借虎威』	葉と現代の言葉のつながりについて理解している。 b[　話/聞　]:作品に表れているものの見方や考え方を捉え、身近なことに関連づけて自らの意見や考えをまとめ、互いに話し合っている。 c:故事成語の由来となった話を積極的に読み、理解した内容を積極的にまとめようとしている。		授業態度 発表 話し合い課題の提出	
	漢詩 ［教材］ 中国の漢詩『春望』(杜甫) 『春暁』(孟浩然) 『秋浦歌』(李白)	a:漢詩の決まりを理解し、作品の歴史的または文化的背景について理解している。b[　読　]:押韻や対句などの技法に留意して漢詩を鑑賞し、古代中国の人々の思いを読み取れている。 c:漢詩の決まりを進んで理解し、作品の情景や心情を読み取ろうとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 授業態度 指名音読課題の提出	授業態度 指名音読課題の提出

４　学習の活動

※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準[ｂ]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　　）時間

・書くこと　…　（　１０　）時間

・読むこと　…　（　５５　）時間